

ABSTRACT ATTACHED

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-165729

(P2002-165729A)

(43) 公開日 平成14年6月11日 (2002.6.11)

(51) Int.Cl.⁷

識別記号

F I

テマコード* (参考)

A 4 7 K 17/02

A 4 7 K 17/02

Z 2 D 0 3 7

審査請求 有 請求項の数 9 O L (全 7 頁)

(21) 出願番号 特願2000-367666 (P2000-367666)

(22) 出願日 平成12年12月1日 (2000.12.1)

(71) 出願人 596050436

ニュー・グッズ株式会社

大阪府大阪市福島区吉野4-10-22

(72) 発明者 常木 義治

大阪市福島区吉野4丁目10番22号 ニュ

ー・グッズ株式会社内

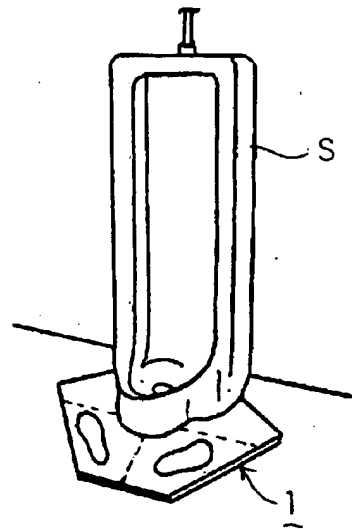
Fターム (参考) 2D037 EB01

(54) 【発明の名称】 小便の掣取りマット

(57) 【要約】

【課題】 尿によって床面が汚れることを防ぐことができて、床面を常に清潔で衛生的な状態に保つことが可能となり、しかも清掃や洗濯等の手間を必要としない小便の掣取りマットを提供すること。

【解決手段】 吸水性紙もしくは吸水性層と非吸水性層の二層構造からなるシートから構成され、少なくとも便器の手前側の床面を被覆するようにトイレの床面に敷設されることを特徴とする小便の掣取りマット。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 吸水性紙から構成され、少なくとも便器の手前側の床面を被覆するようにトイレの床面に敷設されることを特徴とする小便の掬取りマット。

【請求項2】 吸水性層と非吸水性層の二層構造からなるシートから構成され、吸水性層を上面として少なくとも便器の手前側の床面を被覆するようにトイレの床面に敷設されることを特徴とする小便の掬取りマット。

【請求項3】 非吸水性層の下面に、床面に対して脱着自在に固定される固定部材が設けられてなることを特徴とする請求項2記載の小便の掬取りマット。

【請求項4】 非吸水性層が受け皿状に形成された硬質部材からなることを特徴とする請求項2又は3記載の小便の掬取りマット。

【請求項5】 吸水性層と非吸水性層とが脱着自在に構成されてなることを特徴とする請求項2乃至4いずれかに記載の小便の掬取りマット。

【請求項6】 吸水性紙又は吸水性層がトイレットペーパー等の水洗トイレに流せる水溶性シートの積層体からなることを特徴とする請求項1乃至5いずれかに記載の小便の掬取りマット。

【請求項7】 消臭剤及び／又は芳香剤が配合されてなることを特徴とする請求項1乃至6いずれかに記載の小便の掬取りマット。

【請求項8】 表面に網が被せられてなることを特徴とする請求項1乃至7いずれかに記載の小便の掬取りマット。

【請求項9】 前部に便器の形状に合わせて切り欠かれた凹部が設けられるとともに、表面には立つ位置を示す足形が描かれてなることを特徴とする請求項1乃至8いずれかに記載の小便の掬取りマット。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は小便の掬取りマットに関し、より詳しくは男性が用を足す際に便器外へ飛散した尿によって床面が汚れることを防ぐことができる小便の掬取りマットに関するものである。

【0002】

【従来の技術】一般に、トイレにおいて男性が小便をする際にその尿が完全に便器内で受け止められずに便器の周囲の床に飛散してしまうことが多々あるが、尿で塗れた床面は悪臭を放ち非常に不衛生であって見た目にも不快である。特に利用者が多い公衆トイレやオフィスのトイレでは、飛散した尿によって便器の周囲の床面が黄色く変色してしまうこともあり、これを防ぐためには床面をモップ等で頻繁に水拭きしなければならず非常に面倒であった。一方、家庭のトイレ等では、尿が直接床面を濡らすのを防ぐために便器の周囲や手前に織物からなるマットを敷いている場合もあるが、このようなマットは長期間放っておくと付着した尿によって悪臭を放ち不衛

生となるため、頻繁に洗濯する必要がある面倒であった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】本発明は上記課題を解決するためになされたものであって、尿によって床面が汚れることを防ぐことができて、床面を常に清潔で衛生的な状態に保つことが可能となり、しかも清掃や洗濯等の手間を必要としない小便の掬取りマットを提供せんとするものである。

【0004】

【課題を解決するための手段】請求項1に係る発明は、吸水性紙から構成され、少なくとも便器の手前側の床面を被覆するようにトイレの床面に敷設されることを特徴とする小便の掬取りマットに関する。請求項2に係る発明は、吸水性層と非吸水性層の二層構造からなるシートから構成され、吸水性層を上面として少なくとも便器の手前側の床面を被覆するようにトイレの床面に敷設されることを特徴とする小便の掬取りマットに関する。請求項3に係る発明は、非吸水性層の下面に、床面に対して脱着自在に固定される固定部材が設けられてなることを特徴とする請求項2記載の小便の掬取りマットに関する。請求項4に係る発明は、非吸水性層が受け皿状に形成された硬質部材からなることを特徴とする請求項2又は3記載の小便の掬取りマットに関する。請求項5に係る発明は、吸水性層と非吸水性層とが脱着自在に構成されてなることを特徴とする請求項2乃至4いずれかに記載の小便の掬取りマットに関する。請求項6に係る発明は、吸水性紙又は吸水性層がトイレットペーパー等の水洗トイレに流せる水溶性シートの積層体からなることを特徴とする請求項2乃至5いずれかに記載の小便の掬取りマットに関する。請求項7に係る発明は、消臭剤及び／又は芳香剤が配合されてなることを特徴とする請求項1乃至6いずれかに記載の小便の掬取りマットに関する。請求項8に係る発明は、表面に網が被せられてなることを特徴とする請求項1乃至7いずれかに記載の小便の掬取りマットに関する。請求項9に係る発明は、前部に便器の形状に合わせて切り欠かれた凹部が設けられるとともに、表面には立つ位置を示す足形が描かれてなることを特徴とする請求項1乃至8いずれかに記載の小便の掬取りマットに関する。これらの発明を提供することにより、上記従来の課題を悉く解決する。

【0005】

【発明の実施の形態】以下、本発明に係る小便の掬取りマットの好適な実施形態について図面を参照しつつ説明する。図1及び図2は本発明に係る小便の掬取りマットの一例を示す平面図であり、図3乃至図5はその断面構造の一例を示す図である。本発明に係る小便の掬取りマット(1)は、少なくとも便器の手前側の床面を被覆するようにトイレの床面に敷設されるものであって、図示例ではその前部に便器の形状に合わせて切り欠かれた凹

部(2)が設けられるとともに、表面には人が立つ位置を示す左右の足形(3)が描かれている。尚、図中のマット(1)に描かれた点線は折り畳み用の線を示している。図示の如く表面の適当な位置に足形(3)を描くことによって、便器にしっかりと近づいて用を足すようになり、マットや床面が汚れにくくなる。また、マットの表面に「一歩前へ」等の文字を記載すると、より一層効果的である。

【0006】図1示のマット(1)は公衆トイレ等によく見られる床面設置型の小便器用として好適に使用されるものであって、凹部(2)が略V字状に形成されることによって図6に示す如く床面設置型の小便器(S)の前面形状に合致するように小便器(S)の手前側の床面に敷設することが可能となっている。一方、図2示のマット(1)は洋式便器用として好適に使用されるものであって、凹部(2)が略半円状に形成されることによって図7に示す如く洋式便器(Y)の前面形状に合致するように洋式便器(Y)の手前側の床面に敷設することが可能となっている。

【0007】本発明に係る小便の零取りマット(1)の最もシンプルな形態としては、図3に示す如く吸水性紙(4)のみから構成することができる。吸水性紙(4)としては、吸い取り紙、和紙、ティッシュペーパー、トイレットペーパー等の吸水性を有する紙が使用され、これらの1種又は2種以上を複数枚重ねることによって本発明に係る小便の零取りマット(1)を構成することができる。このように構成された小便の零取りマット(1)を図6及び図7に示したように床面に敷設することによって、便器の周囲に飛散した尿はこのマット(1)にて吸収され、床面が汚れることがない。また、このマット(1)は吸水性紙からできているので汚れたらそのまま折り畳んで捨てればよく、清掃作業の手間を大幅に軽減することができる。また、吸水性紙(4)の下面に、床面に対して脱着自在に固定される固定部材(7)を設けると、使用中におけるマットの位置ずれを防止することができるため好ましい。固定部材(7)としては両面粘着テープや面接合ファスナー等が使用され、面接合ファスナーを使用する場合には床面の対応する位置にも面接合ファスナーが設けられる。

【0008】尚、吸水性紙(4)をトイレットペーパー等の水洗トイレに流せる水溶性シートから構成すると、使用後はそのままトイレに流すことができるようになり、ゴミの発生量を減らすことができるため好ましい。また、吸水性紙(4)に消臭剤及び/又は芳香剤を配合すると、吸水性紙(4)に吸収された尿が発する匂いによる不快感を低減することができるため、より好ましい。また、使用時における吸水性紙(4)表面の破れや剥がれ等を防止するために、マット(1)の表面に糸等からなる網を被せることも可能である。

【0009】本発明に係る小便の零取りマット(1)の

別の形態として、図4に示すような吸水性層(5)と非吸水性層(6)の二層構造からなるシートから構成することも可能であり、この場合には吸水性層(5)を上面として図6及び図7に示す如く床面に敷設して使用される。このとき、非吸水性層(6)の下面に、床面に対して脱着自在に固定される固定部材(7)を設けると、使用中におけるマットの位置ずれを防止することができるため好ましい。固定部材(7)としては両面粘着テープや面接合ファスナー等が使用され、面接合ファスナーを使用する場合には床面の対応する位置にも面接合ファスナーが設けられる。また、吸水性層(5)と非吸水性層(6)とを脱着自在とする構成も好ましく採用できる。吸水性層(5)と非吸水性層(6)とを脱着自在とするための構成は特に限定されないが、吸水性層(5)と非吸水性層(6)とを面接合ファスナーや両面粘着テープを介して積層する構成を例示することができる。

【0010】吸水性層(5)の材料は尿を吸収することができるものであればよく、吸い取り紙、和紙、ティッシュペーパー、トイレットペーパー等の吸水性を有する紙、不織布や織布等の吸水性の布、綿、高分子吸収材等を好適な例として例示することができる。吸水性層(5)をトイレットペーパー等の水洗トイレに流せる水溶性シートから構成すると、使用後はそのままトイレに流すことができるようになり、ゴミの発生量を減らすことができるため好ましい。また、吸水性層(5)に消臭剤及び/又は芳香剤を配合すると、吸水性層(5)に吸収された尿が発する匂いによる不快感を低減することができるために好ましく、更には使用時における吸水性層(5)表面の破れや剥がれ等を防止するために、マット(1)の表面に糸等からなる網を被せることも可能である。非吸水性層(6)の材料は尿が浸透しないものであればよく、ビニールシート等の合成樹脂製シート、ゴムシート、金属板、木板等を好適な例として例示することができる。

【0011】このように小便の零取りマット(1)を、吸水性層(5)と非吸水性層(6)の二層構造からなるシートとすることにより、マットに付着した尿が内部に浸透して床面にまで達することが防がれ、床面の汚損を確実に防止することが可能となる。また、吸水性層(5)と非吸水性層(6)とを脱着可能に構成することによって、マットが汚れた場合には吸水性層(5)のみを取り外して交換することが可能となり、非常に便利である。尚、吸水性層(5)は非吸水性層(6)の全面にわたって設けてもよいが、一部のみを被覆するように設けることも可能であり、一部のみを被覆する場合には便器に近い部分を覆うようにすればよい。

【0012】また、上記した吸水性層(5)と非吸水性層(6)の二層構造とする構成において、非吸水性層(6)を図5に示すような、吸水性層(5)の周囲を覆う立ち上げ部を有する受け皿状に形成することも可能で

ある。この場合、非吸水性層(6)としては金属板や木板等の剛性を有する硬質部材が使用され、その下面には上記したようなマット(1)を床面に固定するための固定部材(7)が設けられる。非吸水性層(6)を図5に示すような受け皿状に形成することにより、吸水性層(5)を浸透した尿を非吸水性層(6)で確実に受けて外部に漏らさないようにすることが可能となる。

【0013】上記した本発明に係る小便の雫取りマット(1)のうち、図5に示したタイプのマットは下面が金属や木等の硬質部材となるため、床面に傷が付いてもよい高級でない床面、例えばコンクリートの床面や田舎の農家の便所等によく見られる土間状の床面に対して使用するとよい。一方、図3及び図4に示したタイプのマットは、下面を軟質部材とすることができるので、床面に傷が付いては困る大理石や高級なタイル張りの床面等に対して使用するとよい。

【0014】本発明に係る小便の雫取りマット(1)の形状は、図1及び図2に示したものに限定されず、便器の形状やトイレの広さ等に合わせて適宜変更することが可能である。また、動物、植物、日用品、星、月等を模した形状とすることも可能であり、例えば図8に示すようにマンボウを模した形状、図9に示すようにチューリップを模した形状、図10に示すようにライオンを模した形状、図11に示すように杉の木を模した形状、図12に示すように傘を模した形状、図13に示すように月を模した形状等を好適な例として挙げることができる。小便の雫取りマット(1)をこのような形状とすることによって、殺風景なトイレに安らぎや暖かみを付与することができる。尚、図中の符号(K)は壁を示し、

(B)は便器を示している。また、本発明に係る小便の雫取りマット(1)は、赤、青、緑、黒、白、オレンジ、ピンク等の任意の色から構成することが可能であり、また2色以上の色を用いて幾何学模様や動植物、漫画のキャラクター等の任意の模様を描くようにしてもよい。

【0015】

【発明の効果】以上説明したように、請求項1に係る発明は、吸水性紙から構成され、少なくとも便器の手前側の床面を被覆するようにトイレの床面に敷設されることを特徴とする小便の雫取りマットであるから、便器で受け止められなかった尿が吸水性紙にて吸収されることにより、床面が汚れることが防がれ、床面を常に清潔で衛生的な状態に保つことが可能となる。しかも、汚れたらそのまま折り畳んで捨てればよく、清掃作業の手間を大幅に軽減することができる。請求項2に係る発明は、吸水性層と非吸水性層の二層構造からなるシートから構成され、吸水性層を上面として少なくとも便器の手前側の床面を被覆するようにトイレの床面に敷設されることを特徴とする小便の雫取りマットであるから、マットに付着した尿が床面にまで達することが防がれ、床面の汚損

を確実に防止することが可能となる。請求項3に係る発明は、非吸水性層の下面に、床面に対して脱着自在に固定される固定部材が設けられてなることを特徴とする請求項2記載の小便の雫取りマットであるから、使用中のマットの位置ずれを防止することができ、しかも床面から容易にマットを取り外して廃棄等することができる。

【0016】請求項4に係る発明は、非吸水性層が受け皿状に形成された硬質部材からなることを特徴とする請求項2又は3記載の小便の雫取りマットであるから、吸水性層を浸透した尿を非吸水性層で確実に受けて外部に漏らさないようにすることが可能となる。請求項5に係る発明は、吸水性層と非吸水性層とが脱着自在に構成されてなることを特徴とする請求項2乃至4いずれかに記載の小便の雫取りマットであるから、マットが汚れた場合には吸水性層のみを取り外して交換することが可能となり便利で経済的である。請求項6に係る発明は、吸水性紙又は吸水性層がトイレトペーパー等の水洗トイレに流せる水溶性シートの積層体からなることを特徴とする請求項2乃至5いずれかに記載の小便の雫取りマットであるから、使用後は吸水性層をそのままトイレに流すことができ、ゴミの発生量を減らすことができる。

【0017】請求項7に係る発明は、消臭剤及び／又は芳香剤が配合されてなることを特徴とする請求項1乃至6いずれかに記載の小便の雫取りマットであるから、吸水層に吸収された尿が発する匂いによる不快感を軽減することができる。請求項8に係る発明は、表面に網が被せられてなることを特徴とする請求項1乃至7いずれかに記載の小便の雫取りマットであるから、使用時におけるマット表面の破れや剥がれ等が防止される。請求項9に係る発明は、前部に便器の形状に合わせて切り欠かれた凹部が設けられるとともに、表面には立つ位置を示す足形が描かれてなることを特徴とする請求項1乃至8いずれかに記載の小便の雫取りマットであるから、便器に密着してマットを敷設することができ、しかも便器にしっかりと近づいて用を足すようになるためマットや床面が汚れにくくなる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係る小便の雫取りマットの一例を示す平面図である。

【図2】本発明に係る小便の雫取りマットの一例を示す平面図である。

【図3】本発明に係る小便の雫取りマットの断面構造の一例を示す断面図である。

【図4】本発明に係る小便の雫取りマットの断面構造の一例を示す断面図である。

【図5】本発明に係る小便の雫取りマットの断面構造の一例を示す断面図である。

【図6】本発明に係る小便の雫取りマットの使用状態を示す図である。

【図7】本発明に係る小便の雫取りマットの使用状態を

示す図である。

【図8】本発明に係る小便の雫取りマットの別の例を示す平面図である。

【図9】本発明に係る小便の雫取りマットの別の例を示す平面図である。

【図10】本発明に係る小便の雫取りマットの別の例を示す平面図である。

【図11】本発明に係る小便の雫取りマットの別の例を示す平面図である。

【図12】本発明に係る小便の雫取りマットの別の例を示す平面図である。

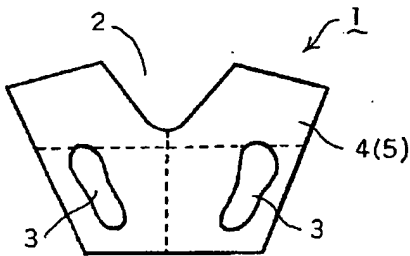
【図13】本発明に係る小便の雫取りマットの別の例を

示す平面図である。

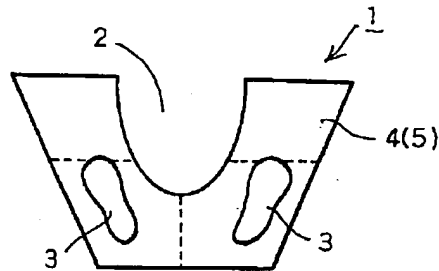
【符号の説明】

- 1 小便の雫取りマット
- 2 凹部
- 3 足形
- 4 吸水性紙
- 5 吸水性層
- 6 非吸水性層
- 7 固定部材
- B 便器
- S 小便器
- Y 洋式便器

【図1】



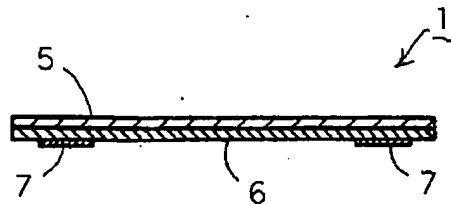
【図2】



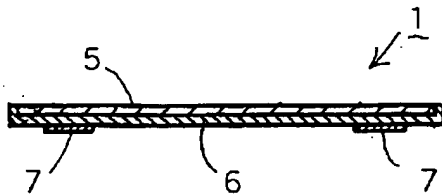
【図3】



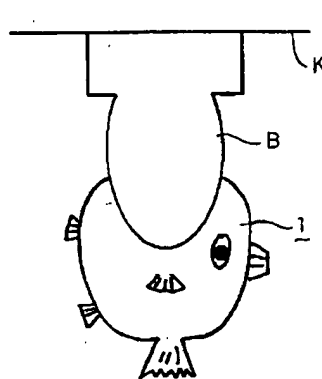
【図4】



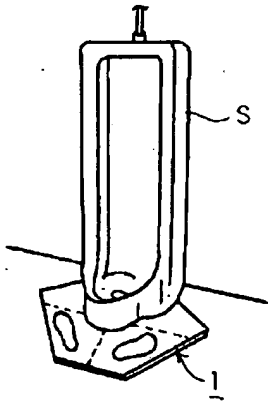
【図5】



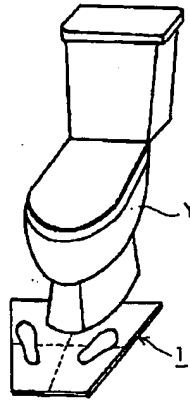
【図8】



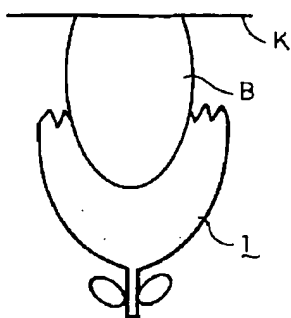
【図6】



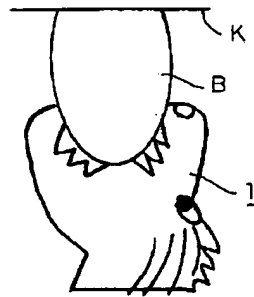
【図7】



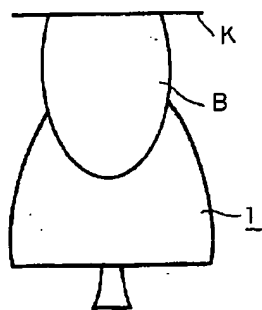
【図9】



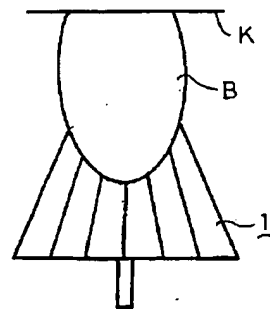
【図10】



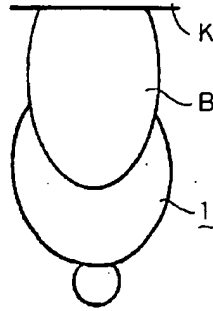
【図11】



【図12】



【図13】



(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **2002165729 A**

(43) Date of publication of application: **11.06.02**

(51) Int. Cl.

A47K 17/02

(21) Application number: **2000367666**

(71) Applicant: **NEW GOODS KK**

(22) Date of filing: **01.12.00**

(72) Inventor: **TSUNEKI YOSHIHARU**

(54) MAT TO ABSORB URINE DROP

(57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a urine drop absorbing mat which prevents the floor from becoming dirty by urine; which makes it possible to keep the floor always clean and hygienic; and which doesn't need the trouble of cleaning or washing.

SOLUTION: A urine drop absorbing mat consists either of an absorbent paper or a sheet made up of a two-layer structure of absorbent layer and non-absorbent layer. It has a characteristic of being placed on the toilet floor so that it covers at least the front side floor surface of the toilet.

COPYRIGHT: (C)2002,JPO

